

# 資料集

問2、3で使用

## ③ 思い出以外でランドセルを残す

6年間使ったランドセルは思い出深いものです。しかし中学校に進学してからは使い道がなく、荷物になってしまいます。岡山県にあるデパートでは、思い出のランドセルを別の革製品に作り変えるサービスが期間限定で開かれました。かたひもなどの部分を切り取り、バスケースや財布、キーホルダーに加工します。思い出を残すと同時に、サステナブルな社会にも役立っているとして、人気を集めました。



高島屋HPより引用

## ⑥ ランドセルの職人



機械化が進んだ現代ですが、手作業で一からランドセルを作る職人たちがいます。1つのランドセルは、50人の職人によって、150以上のパーツを300をこえる手作業で、約1か月かけて仕上げられています。

例えば、ランドセルの角にひだを寄せながら細かく折りたたむ「菊寄せ」は、美しさと強度を両立するために、均等なひだをひとつひとつていねいに仕上げます。

ある職人は、「美しいこと、なじむこと、使いやすいこと。それがランドセルに対する美意識」「一生に一度しかない『初めて背負った日』を、忘れられない最高の一日にしてあげたい。」と話します。

中川政七商店HPより引用

## ① ランドセルのはじまりは？

ランドセルのはじまりは、江戸時代にまでさかのぼります。江戸幕府が軍隊を組織する際、オランダの背囊(はいのう、背負いぶくろ)を輸入したことがはじまりとされています。この背囊はオランダ語でranel(ランセル)といい、これが変化してランドセルになったと言われています。

小学生が使うようになったのは、明治時代の学習院初等科が始まりとされています。それまではふろしきに学用品を包むのがふつうでしたが、ランドセルは両手が自由に使える便利さから、日本中に一気に広まりました。



セイバンHPより引用

## ④ ランドセルのトレンド

ランドセルのデザインや機能は、時代と共に変化しています。かたひもは人の体の形に合わせたものに、重さもより軽く、サイズはA4のクリアファイルが入るもののが標準になるなど、より機能的になってきています。また昔は赤と黒ばかりでしたが、多くのカラーバリエーションを取りそろえたり、有名なファッショングランが参入するなど、デザインもより洗練されたものになっています。



セイバンHPより引用

## ⑦ ランドセルを購入する割合

2020年の調査では、小学校入学時に通学カバンとしてランドセルを買った人は91.4%でした。ほとんどの小学生が小学校生活でランドセルを使用していることがわかります。また、「もう一度選べるならランドセル以外も検討したい」と答えたのは24.1%で、全体の約4人に1人と、多くの人がランドセルに前向きな意識をもっているようです。



〈ランドセルを買った理由〉(複数回答可)	
ランドセルしか 考えていなかった	44.7%
ランドセルが学校指定だと 思っていたから	42.6%
周りもランドセルを 買っていたから	18.5%
自分が小学生の時も ランドセルを使用していたから	18.3%

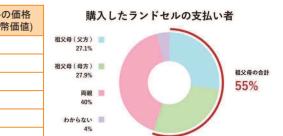
フットマーク株式会社 小学入学時に使用するカバンの意識調査より引用

## ② ランドセルの価格と買う人

ランドセルは時代の変化とともに、価格も推移しています。現在のお金の価値に直してみると、年々価格が上がっていることが分かります。機能が増えたことや、荷物が増えていることなどが理由だと考えられます。近年では学習用タブレットなどを入れる学校もあります。

また、ランドセルは祖父母が買う割合が全体の半分以上です。お祝いをお金ではなく形でプレゼントしたいという気持ちの表れでしょう。

年度	ランドセルの価格	大卒の初任給 (国家公務員)	ランドセルの価格 (現在の貿易価値)
昭和16年(1941年)	9円80銭	—	14,000円
昭和30年(1955年)	2,500円	8,700円	52,000円
昭和40年(1960年)	3,600円	19,610円	33,000円
昭和45年(1965年)	6,000円	31,510円	34,000円
昭和50年(1970年)	10,000円	80,500円	22,500円
昭和60年(1980年)	23,000円	118,800円	35,000円
平成5年(1993年)	35,000円	179,200円	—
平成17年(2005年)	35,000円	179,200円	—
平成27年(2015年)	60,000円	181,200円	—



中村鞆製作所HP  
ランドセル評価・ロコミランキングHPより引用

## ⑤ ランドセルの困りごとを解決

近年、教科書のボリュームが増え、またタブレットを持参するなど、ランドセルの中身は重くなる一方です。これが原因で起こる健康ひ害「ランドセル症候群(しようこうぐん)」は、社会問題の一つです。

これを解決したのが「さんぽセル」です。キャスターのついたアルミのフレームにランドセルを取り付けることができます。ランドセルを背負わずにキャリーケースのように引くことで、重さによる健康ひ害を小さくすることができます。ランドセルを背負っているときと比べて、重さの負担を85~95%も軽減することを実現しました。実はこの発明をしたのは小学生です。

ランドセルを使用している中で困っていることに向き合い、実際に行動に移すことで解決を果たしました。



悟空のきもちTHE LABO HP  
Yahoo!ニュースより引用

## ⑧ 最新のランドセルの機能

年々ランドセルに求められることは増加しており、多くの便利な機能が追加されています。

- ①通学路での安全性を高める、防犯ブザー用フック・前後左右の反射材
- ②持ち運びがさらに便利になった、持ち手ハンドル
- ③長くきれいに使うことができる内部コーティング
- ④使いやすさを求めた、ワントッチロック



セイバンHPより引用